

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.271

■ 2024 年度技術動向講演会

次世代自動車センター浜松では、毎年、次世代技術への対応に役立つ最新技術動向を紹介するため、「次世代自動車対応技術動向講演会」を開催しています。

本年度は、昨今、次世代自動車のカーボンニュートラル対応として電動車以外にも車両メーカーではいくつかの対応策が見込まれている状況の中、次世代モビリティに関して「カーボンニュートラル・フューエル」「電動モビリティ」「燃料電池車」をテーマとして取り上げ、ヤマハ発動機株式会社 小松 賢二 様、スズキ株式会社 熊瀧 潤也 様、NPO 法人テクノプロス 滝 正佳 様を講師に迎え、「次世代モビリティ」の最新技術動向に関する技術の概要、現在の普及状況、現状の課題及び今後の展開などを解説していただく講演会を開催しました。

また、講演会終了後、講師の方々と参加企業の皆様の「次世代モビリティ」についての意見交換の場として、技術交流会を開催しました。

■ 日 時 : 令和6年11月18日(月) (講演会) 13時30分~17時
(交流会) 17時15分~18時30分

■ 会 場 : グランドホテル浜松

■ 参加者 : (講演会) 97社/173名 (交流会) 37社/64名

【講演会】

次 第	内 容
主催者挨拶	次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二
来賓挨拶	浜松市産業部 部長 北嶋 秀明 様
基調講演	ヤマハ発動機(株) 執行役員 技術・研究本部 本部長 小松 賢二 様 演題:「ヤマハ発動機らしい楽しさの追求とマルチパスウェイな技術開発」
	スズキ(株) 常務役員 次世代モビリティサービス本部 本部長 熊瀧 潤也 様 演題:「スズキが考える次世代のモビリティと成長戦略」
	NPO法人テクノプロス 滝 正佳 様 演題:「水素社会の扉を開けたFCEVの生産技術と今後の動向」

<開会>



<来賓挨拶>



< 基調講演①：ヤマハ発動機(株)様 >



< 基調講演②：スズキ(株)様 >



< 基調講演③：(N)テクノプロス様 >



< 質疑応答 >



【技術交流会】
< 主催者挨拶 >



< 来賓挨拶：静岡県 高橋理事様 >



< 閉会挨拶 >

【参加者の声】

○基調講演①

- ・将来必要となるマルチパスなエネルギーミックスについて大変参考になった。世界の各地域の状況に合わせたCO₂削減手段が必要であることも理解できた。
- ・二輪、マリンでもマルチパスウェイを実践され、社会課題の解決を積極的に取り組んでいることに共感が持てた。
- ・カーボンニュートラルへの取組みに対して、アルコール、バイオ、水素等の燃料対応を実施いただいている点が大変参考になった。
- ・次世代動力は地域の特性に合わせて多様になるということがわかった。水素エンジンについて、もっと理解を深めていきたいと思った。
- ・小型モビリティを基点に、マルチパスウェイに対応していく方向が良くわかった。水素エンジンに期待している。
- ・マルチパスウェイの背景には Scope 3 のCO₂削減という狙いがあり、国・地域によって異なるエネルギー事情、政策に応じ、商品展開を変えていく点を順序立てて説明していただき大変参考になった。
- ・電池、バイオ燃料、水素の全てにおいて、搭載スペース、航続距離といった共通の問題点があることを再認識した。

○基調講演②

- ・新規事業への取組みや、空飛ぶクルマといった未来分野へ夢のある検討内容まで紹介があり大変勉強になった。
- ・モビリティサービスの開発から、将来のデジタル都市構想までズキ様が広い分野で成長戦略を立て、取り組まれていることがわかった。
- ・CASEのCの部分から派生して、モビリティ企業からインフラ企業へという意識が伝わった。また、ビッグデータを利用したサービスビジネス展開が非常に興味深かった。エアモビリティのコリドーもぜひ実現してほしいと思った。
- ・コネクテッド事業が単に自動車ユーザーへの利便性向上だけではなく、新規事業につながるところが素晴らしいと思った。
- ・今後のモビリティの活用例がよかった。新事業発掘や地域貢献など、大変参考になった。自社の強みや技術をベースに未来に向けた構想を描けている点が参考になった。
- ・新事業創出、新しい取組み、特に、電動モビリティベースユニットは広がる可能性を感じた。2030年代のデジタル都市構想は大変興味深かった。
- ・電動モビリティベースユニットのような既設資源で使った具体策やスカイドライブ様との新モビリティの市場作りなど、全てのご説明が大変参考になった。
- ・車を通して広がるサービスの可能性を良く理解できた。セニアカーの機能を活かして商品展開のアイデアに感心した。
- ・従来のメーカーとして、販売までが終わりかと思うが、ユーザー目線で、カーライフにおける利便性向上、医療や福祉の現場にも着目されて、様々な取組を行っていることは素晴らしいと感じた。

○基調講演③

- ・水素社会の必要性から、FCシステムの概要まで幅広い内容で解説いただき、FCEVの将来性を感じることができた。
- ・水素社会の現状と変化、必要性が良く理解できた。FCEVの主要構造と材質もわかりやすかった。水素社会への変更への壁や問題点、FCEVの課題も理解できた。
- ・水素社会とFCEVの現状について初めて聞く内容が多く参考になった。軽い、小さい、低コスト、インフラなどの課題も簡単でないことがよくわかった。
- ・水素の基本から、世界の動向を拝聴できて非常に勉強になった。
- ・水素の必要性に関する現状認識について、わかりやすく整理して解説をいただき勉強になった。更にFCEVの技術面での取組も非常に詳しくお話いただき参考になった。
- ・水素の安全性、FCEVの実用性について 大変参考になった。
- ・FCEVの技術的な解説があり、新たに必要となるデバイスの役割が参考となった。